

新たな視点の発見と見識の広がりを感じて

第10回AEARU分子生物学・生物工学ワークショップ  
2009年11月11日～13日 国立台湾大学

私は「Heterochromatin Formation by Meiotic mRNA Elimination System in Fission Yeast」という題目で、研究成果発表（ポスター発表）を行った。

今回のワークショップのテーマは、「A New Era for Translational Science」で、基礎研究の成果を如何に応用に結びつけるかということに主眼が置かれており、かつ、扱う学問領域は分子生物学・生化学と非常に広がったため、これまで基礎的な研究に従事してきた私にとって、基礎から応用への視点はとても新鮮であった。多くの方々の発表を拝聴したり、自身のポスター発表で皆さんから意見を頂いたりしたことで、見識の幅を広げることができた。

さらにポスター発表では、私の行った研究に多くの方々が興味を持ってくださり、ポスター賞受賞という最高の結果となった。参加にあたり多くの困難を克服出来たこと、そして、色々とお助けしてくれた国立台湾大学の学生と人間関係を構築できたことは、私にとって今回の台湾訪問での最大の収穫であった。AEARUのワークショップを通じて、貴重な経験を得ることが出来た。



生命科学研究科 博士後期課程 1年 田代 三喜

AEARU先端材料科学ワークショップに参加して

第3回AEARU先端材料科学ワークショップ  
2009年11月11日～13日 浦項工科大学

第3回AEARU先端材料科学ワークショップが、2009年11月11日～13日の間、浦項工科大学（POSTECH）キャンパス内のPOSCO国際会議センター1F会議場で開催され、出席した。このワークシ



ョップはAEARUのメンバー大学が持ち回りで開催している。ワークショップでは、AEARU加盟校10校と米国空軍、海軍および北海道大学から32名の教授や研究者、30名の浦項工科大学の大学院生等が参加した。

今回、私は、「新規フォトニック材料とデバイス」セッションに講演者として参加した。研究内容について、ワークショップ参加者と議論を深めることができ、とても有意義な機会となった。セッション終了後、浦項工科大学キャンパス内の韓国レストランでサムゲタンを頂いたり、キャンパスツアーや慶州エクスカーションに参加したりする中で、様々な研究者や学生と交流することができた。このような大学協会のプログラムは、多国籍、多分野の研究者や学生と議論し、交流を深めることが出来る、とても良い機会であるので、多くの教員・学生の皆さんが参加されるよう強く勧めたい。

人間・環境学研究科 教授 田部 勢津久

APRU・AEARUには世界の最先端大学が加盟しています

APRU加盟大学

オーストラリア	Australian National University University of Melbourne University of Sydney
カナダ	University of British Columbia
チリ	University of Chile
中国	復旦大学 香港科技大学 南京大学 北京大学 清華大学 香港大学 中国科学技術大学 浙江大学
台湾	台湾大学
インドネシア	University of Indonesia
日本	慶應義塾大学 京都大学 大阪大学 東北大学 東京大学 早稲田大学
韓国	Korea University Seoul National University
マレーシア	University of Malaya
メキシコ	National Autonomous University of Mexico Tecnológico de Monterrey
ニュージーランド	University of Auckland
フィリピン	University of the Philippines
ロシア	Far Eastern National University
シンガポール	National University of Singapore
タイ	Chulalongkorn University
アメリカ合衆国	California Institute of Technology Stanford University University of California, Berkeley University of California, Davis University of California, Irvine University of California, Los Angeles University of California, San Diego University of California, Santa Barbara University of Oregon University of Southern California University of Washington

AEARU加盟大学

中国	復旦大学 南京大学 北京大学 清華大学（北京） 中国科学技術大学 香港科技大学
台湾	台湾大学 清華大学（新竹）
韓国	韓国科学技術院 浦項工科大学 ソウル大学
日本	京都大学 大阪大学 東北大学 東京工業大学 東京大学 筑波大学

編集・発行 京都大学  
研究国際部国際交流課

住所：〒606-8501  
京都市左京区吉田本町

電話番号：075-753-2079  
E-mail：renkei@www.adm.kyoto-u.ac.jp



APRU  
Association of Pacific Rim Universities  
環太平洋大学協会

AEARU  
The Association of East Asian Research Universities  
東アジア研究型大学協会

世界の最先端大学から学ぼう！



## 多くのことを吸収した濃密な二週間

第5回APRU学部学生サマープログラム  
2010年7月4日～17日 シンガポール国立大学

プログラムのテーマは、Rising to New Challenges - Impactful Leadership in the 21st Centuryで、様々な講義や、施設の見学、ワークショップといった多彩なプログラムが用意されていた。大学の内外で多くの専門家から直接話を聞き、参加者同士で議論を行った。最終日には、このプログラムを通して学んだことを生かし、プレゼンテーションを行った。私は東京大学と香港大学からの参加者とチームを組み、日本と香港の教育制度について発表した。多くのアクティビティが用意されている中、時間を見つけての準備は大変で、感情的になることもしばしばあったが、最後までプレゼンテーションをやり遂げられたことでたくさんのことを学ぶことができた。二週間だったことが信じられないほど多くのことを吸収できた濃い日々は、自分がやるべきこと、考えるべきこと、知るべきことは何かをじっくり考えさせてくれた。この二週間で感じたこと、学んだこと、そして出会えたたくさんの仲間を、思い出としてだけではなく、将来につなげていきたいと思う。



工学部地球工学科4回生 生津 路子

## 専門の学会にはない魅力

第3回APRUアジア太平洋Brain & Mindリサーチシンポジウム  
2010年8月23～25日 ソウル国立大学

隔年で開かれるこのミーティングには、APRUに所属する北米・豪・アジア全域の大学から脳・神経系の研究者が100名ほど参加していた。非常に幅広い分野からの研究者の集いであるため大半の発表者が導入部に時間をかけ、新しい実験結果を発表する時間が短かったのが残念だったものの、普段は耳にすることのない分野の話や聞き事や、個人的に疑問をもった際は、質問時間やコーヒーブレイク時に容易に議論できる、小規模ならではの利点を持った会合であった。

シンポジウム期間中の食事は韓国色があり、かつ、国際色豊かな各研究者がきちんと楽しめるような配慮がなされており、文化的な交流も深められた。また、発表者にはソウル国立大学の研究者が多く、こうした会合を開催することは、自国の研究のレベルをアピールし、共同研究などに発展させるとも良い機会だと思われた。



生命科学系キャリアパス形成ユニット 特定研究員 田中 暢明

## APRU



環太平洋大学協会  
Association of Pacific Rim Universities

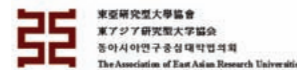
APRU (アプル) は、1997年に環太平洋圏の主要大学の学長の提案により発足し、環太平洋圏の主要大学間の相互理解を深めることを通じて、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題(経済発展、都市化、地球温暖化、高齢化社会など)に対し、高等教育機関の立場から教育・研究の分野から協力・貢献することを目的とする世界有数の大学連合です。現在16か国(地域)42大学が加盟しています。APRUの目標は、環太平洋地域社会の発展に貢献することにあります。これはAPEC(アジア太平洋経済協力会議)の環太平洋諸国共同体の創設のための取り組みにも類似していると言われています。京都大学はAPRUの創設メンバー校です。

## 主な活動内容

- リサーチシンポジウム、ワークショップ(研究者、院生、学部生等すべて対象)(テーマ:防災学、脳科学、老年学、遠隔教育、気候変動など)
- APRU博士課程学生会議(博士課程対象)
- APRU学部学生サマープログラム(学部生対象)

詳細はウェブサイト参照 → <http://www.apru.org/>

## AEARU



東アジア研究型大学協会  
The Association of East Asian Research Universities

AEARU (アール) は、1996年に香港科技大学(中国)及び浦項工科大学(韓国)の提唱によって結成された、東アジア4か国(地域)17大学の研究型大学で構成される国際大学連合です。地域的・文化的な類似性を有するだけでなく、学術的プロフィール、教育目標及び学術研究・開発においても共通の関心を持つ東アジア地域の主要な研究型大学を結集し、研究者及び学生の交流、共同研究プロジェクトの推進、特定のテーマに沿った会議・ワークショップの開催など、相互の関心に基づく協力を行うことを目的としています。京都大学は、2008-2009年の2年間AEARU議長校を務め、現在も様々な行事を主催し、積極的に活動しています。

## 主な活動内容

- リサーチシンポジウム、ワークショップ(研究者、院生、学部生等すべて対象)(テーマ:ウェブ技術・コンピュータ科学、生物工学、材料科学、文化など)
- AEARUサマーキャンプ(院生、学部生対象)

詳細はウェブサイト参照 → <http://www.aearu.org/>

## APRU・AEARU行事に参加しよう

APRU・AEARUでは、年間を通じて世界各地の加盟機関でさまざまな分野の会議やワークショップなどを開催しており、京都大学からも、毎年たくさんの教員や学生が参加しています。

毎年夏に開催されるAPRU博士課程学生会議・APRU学部学生サマープログラムとAEARUサマーキャンプは、海外の学生と寝食を共にし、テーマに基づく討論や文化交流を行うもので、とくに人気の高いプログラムです。APRU・AEARU事業の参加者の募集は、国際交流課が窓口となり、各部署事務局へ通知しています。京都大学ホームページにも募集案内を随時掲載していますので、興味のある方はぜひご応募ください。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/international/coalition/>

グローバルなネットワークづくりから知の創造へ  
—国際交流課スタッフからの声—

環太平洋および東アジアにおける知の創造・学術交流の促進のために生まれた大学協会、それがAPRUとAEARUです。創設理念を実現するために、加盟大学の学長による総会や研究科長による会議を定期的に開催し、世界を牽引していけるような研究活動の場の提供を目指した議論が活発に行われています。加盟大学はみな非常に献身的かつ積極的で、各行事への参加者に対する経済的支援をしたり、主催大学は開催費用を負担したりしています。

私たち国際交流課のスタッフは、京都大学からの参加者に対する各種支援を行っています(学内選考があります)。APRU・AEARUとも世界を代表する大学が加盟しているため、各行事を通じて、世界トップクラスの研究者や学生とのネットワークを構築することができますし、共同研究に発展していくような例も多くあります。これらの機会が、京都大学の皆さまの国際的ネットワークづくりや研究の発展につながるようお手伝いしていきますので、是非ご参加ください。

